

CA92013-Y12901

Si-V704B

ソフトウェア説明書

V12

The Fujitsu logo, consisting of the word "FUJITSU" in a bold, sans-serif font. Above the letter "I" is a stylized infinity symbol (∞).

このたびは、Si-V704B 基本ソフトウェア V12 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、以下の項目について記述されています。

- ・お買い上げいただきましたファームウェアの機能
- ・Si-V704B のハードウェアに、ファームウェアをインストールするための手順
- ・添付取扱説明書(CD)の参照の仕方
- ・お取り扱い上の注意事項
- ・特定機能使用時の注意事項
- ・その他の注意事項

Si-V704B では、既にファームウェアはインストールされていますので、通常は「3. 添付取扱説明書(CD)の参照方法」からご利用ください。

基本ソフトウェアにはご使用条件があります。同梱の「使用許諾契約書」に記載されていますので、必ずお読みください。

なお、インストールに関しては、担当富士通営業、または富士通のシステムエンジニア、富士通の技術員にご用命ください。

本書における商標の表記について

Microsoft、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Netscape Communications、Netscape Communications logo、Netscape Navigator、Netscape は、米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

Windows® 95 の正式名称は、Microsoft® Windows® 95 operating system です。

Adobe、Adobeロゴ、Adobe Acrobat、Adobe Acrobatロゴは、Adobe System Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。

Windows NT® 4.0 の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Server network operating system Version 4.0、または Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。

Windows® 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Server network operating system、または Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。

i486は、Intel Corporationの商標です。

Intelは、Intel Corporationの登録商標です。

Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

IBMは、IBM Corp.の商標です。

目次

1	Si-V704B の機能	4
2	ファームウェアのインストール手順	5
2.1	ハードウェアの準備	6
2.2	パソコンの準備	6
2.3	FTP ファイル (ファームウェア) の転送	8
3	添付取扱説明書 (CD) の参照方法	11
3.1	必要ソフトとインストールについて	11
3.2	収録されているファイルを見るには	11
4	お取り扱い上の注意事項	12
5	特定機能使用時の注意事項	13
5.1	VoIP 接続装置について	13
6	その他の注意事項	14
6.1	使用ポート番号による優先制御について	14
6.2	プロキシサーバ二重化機能利用時の動作保証範囲について	14
6.3	使用可能な FAX 機器について	14
6.4	FAX 信号検出時の対応について	15

1 Si-V704B の機能

本ファームウェアを本装置にインストールすることにより実現できる機能の一覧を以下に示します。本ファームウェアの版数はV12.00です。

機能 / 分類	詳細
発着信	複数台連携機能
	着信グループ機能
	保留音登録機能
補助機能	入力レベル、出力レベル(受話音量)、トーン送出レベル設定可能
VoIP 機能	SIP(RFC3261) T.38FAX 手順サポート
	ゲートウェイ(OD中継線)
	プロキシサーバ連携 呼毎のプロキシサーバ連携、スタティック切替機能
	音声コーデック(G.711(μ -Law)、G.729A)
	DTMF(インバンド)
ルーティングプロトコル	スタティック、RIP、RIP2(VLSM対応)
設定手段	WWW ブラウザ
ロギング	システムログ
簡単 / 便利機能	DHCP クライアント機能、 SNMP エージェント機能、
レベルアップ	Web ワンタッチ、FTP サーバ機能

: WEB 設定には、InternetExplorer 5.01 以上 / Netscape Communicator 4.7 以上(ただし Netscape6 以降を除く)をご利用ください。

2 ファームウェアのインストール手順

ファームウェアのインストールは、以下の手順で行います。

- 1 . ハードウェアの準備(2.1 節)
- 2 . パソコンの準備(2.2 節)
- 3 . FTP ファイル(ファームウェア)の転送(2.3 節)

なお、ファームウェアのエンハンス等の理由でファームウェアの更新/再インストールを行う場合には、この手順のうち、2のパソコンの準備で IP アドレス・サブネットマスクの設定を、現在の Si-V704B の運用にあわせた IP アドレス・サブネットマスクに設定してから行ってください。

また、取扱説明書の“第2部 第3章 運用管理とメンテナンス”にも他の方法が記述してありますので参考にしてください。その場合は、“本装置のファームウェアを更新する”を参考にファイルロケーションとして設定されたディレクトリ名+ファイル名で FTP ファイル(ファームウェア)を作成してください。

2.1 ハードウェアの準備

ハードウェアの準備としては、ケーブルの接続を行う必要があります。

Si-V704B の “ toPC-toHUB”スイッチを toPC に設定し、LAN ケーブル（カテゴリ 5）を 10/100BASE-TX ポートに、カチッと音がするまでさし込んでください。ケーブルの反対側の端はパソコンの LAN ポートにさし込んでください。ケーブルの接続が終了したら装置を起動します。

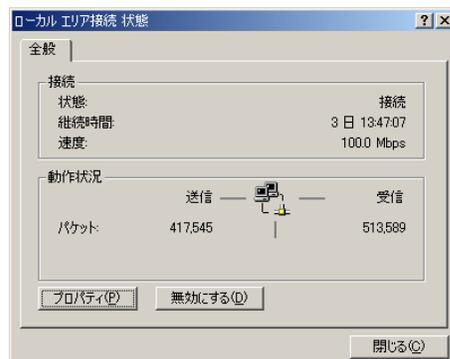
2.2 パソコンの準備

ファームウェアをインストールする場合には、パソコンに IP アドレス / サブネットマスクを設定しておく必要があります。パソコンには、Si-V704B と同じネットワークの IP アドレスを設定しなくてはなりません。例として、Si-V704B と同じネットワークの IP アドレスである (192.168.1.2/24) を Windows2000 パソコンに設定する手順を、以下に示します。

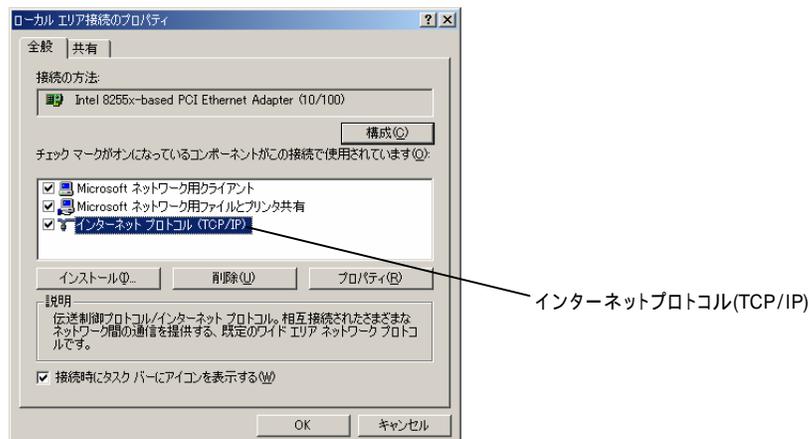
1. Windows2000 の「スタート」「設定」「コントロールパネル」「ネットワークとダイヤルアップ接続」「ローカルエリア接続」を選択し、ローカルエリア接続を開きます。



2. ローカルエリア接続状態で「プロパティ」をダブルクリックします。

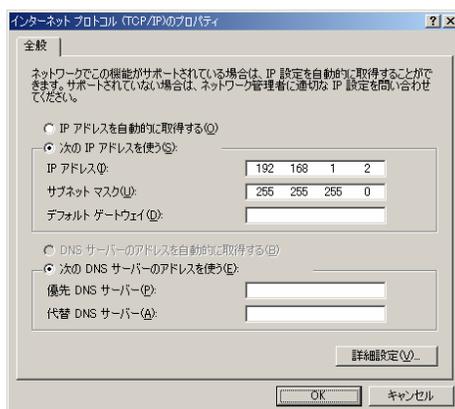


3. インターネットプロトコル(TCP/IP)を選択しダブルクリックします。



4. IP アドレス・サブネットマスクをパソコンに設定します。

192.168.1.2/24 IP アドレスが 192.168.1.2 でサブネットマスクが 255.255.255.0
設定終了後は、「OK」をクリックします。



5. 再起動を要求された場合は、再起動します。

設定を変更しない場合は、パソコンを再起動する必要はありません。

2.3 FTP ファイル（ファームウェア）の転送

FTP ファイル（ファームウェア）は CD 媒体に収録されている V12 版ファームウェア (¥V12¥SIVDSOFT) を使用してください。以下に FTP ファイル（ファームウェア）の転送手順を説明します。

FTP ファイル（ファームウェア）の転送を行う際は、FTP ファイル（ファームウェア）が存在するディレクトリで行ってください。また、CD 媒体から直接転送できない場合は、FTP ファイル（ファームウェア）を一旦ローカルディスクにコピーし、コピー先のディレクトリから実施してください。なお、例では Windows 2000 のコマンドプロンプトを使用して、FTP ファイル（ファームウェア）の転送を行っています。



1. FTP ファイル（ファームウェア）をローカルディスクにコピーします。

以下に FTP ファイル（ファームウェア）をローカルディスクにコピーする方法を説明します。

例では、CD ドライブを D ドライブとして説明します。

CD 媒体を CD ドライブにさして以下のコマンドを実行します。

```
C:¥WINDOWS> copy d:¥V12¥SIVDSOFT .
```

: 上記方法では、ファイルを上書きするかどうかの問合せがあります。その場合には、yesまたはyを選択してください。

2. FTP で装置にログインします。

Windows2000 から本装置に FTP でログインします。ログインする際のログイン名は "ftp-admin"、パスワードは必要に応じて入力します。

: 工場出荷時はパスワード未設定の状態です。この場合は、パスワードの入力は不要です。

```
C:¥WINDOWS>ftp 192.168.1.1 (本装置の IP アドレス) ↵  
  
Connected to 192.168.1.1.  
220 Si-V704B FTP server(Ver1.0) ready.  
User (192.168.1.1:(none)): ftp-admin ↵  
  
331 Password required for ftp-admin.  
Password: ↵  
230 User ftp-admin logged in.  
  
ftp>
```

3. FTP ファイル (ファームウェア) を本装置にアップロードします。

FTP ファイル (ファームウェア) を本装置に BINARY モードでアップロードします。"put" コマンドの書式は、「put パソコン側のファイル名 装置側のファイル名」です。「パソコン側のファイル名」には、作成した FTP ファイル (ファームウェア) のファイル名を、「装置側のファイル名」には、"firmware" と入力してください。

```
ftp> binary ↵  
200 Type set to I.  
ftp> put SIVDSOFT firmware ↵  
200 Port command successful.  
150 Opening BINARY mode data connection for 'firmware'.  
226- Transfer complete.  
update: Transfer file check now!  
update: Transfer file check ok.  
.  
.  
  
226 Write complete.  
ftp>
```

装置が起動しなくなる 注意！！

：転送中には、絶対に電源OFF/リセットは行わないでください。もし、転送中に電源OFF/リセットした場合は、装置が起動しなくなります。

4. ファームウェアファイルが正しくアップロードできたことを確認します。

“Write complete”のメッセージが表示されれば正常終了です。

quit コマンドで ftp を終了してください。

```
ftp> quit  
221 Goodbye.  
C:¥WINDOWS>
```

5. ファームウェアを有効にするために、本装置を再起動します。

電源を切断したのち、再度電源を投入してください。

6. 再起動したら、ファームウェアが正しくインストールされていることを確認するために、

telnet もしくはコンソールから Si-V704B にログインして以下のコマンドを実行し、

“FIRM: ” が V12.00 になっていることを確認してください。

idinfo

7. 以上でファームウェアのインストールは終了です。

3 添付取扱説明書（CD）の参照方法

3.1 必要ソフトとインストールについて

- ・必要動作環境

Intel 486 以上のプロセッサ (Pentium 以上を推奨) を搭載した NEC PC9800 シリーズ、
または IBM PC/AT 互換機、CD-ROM/R/RW ドライブ、40MB 以上の空き容量のあるハード
ディスク、OS は Windows 95/98/NT4.0/2000 以降

- ・必要アプリケーション

- Acrobat Reader 4.05 以降

- ・インストール

CD 媒体には AcrobatReader4.05J が含まれています。

Windows 上で "¥ACROREAD¥AR405JPN.EXE" を実行するとインストールを開始します。

3.2 収録されているファイルを見るには

CD 媒体に収録されている index.htm を WWW ブラウザで開いてください。

4 お取り扱い上の注意事項

- (1) 本装置は、雷や静電気などに対する保護回路を内蔵しています。そのため、雷や静電気などが装置内に進入すると、ODポートなどの一部機能が使用できなくなることがあります。

この場合、装置の電源を再投入することで正常な状態に復旧します。なお、電源を再投入してもODポートなど一部機能が使用できない、あるいは、電源が入らない場合は、「保護回路で保護しきれない状態となり装置が破壊された」と考えられます。

このような場合は、富士通の技術員にご連絡ください。

- (2) ファームウェアの更新中は、絶対に電源OFF/リセットは行わないでください。もし、更新中に電源OFF/リセットした場合は、装置が起動しなくなります。

5 特定機能使用時の注意事項

5.1 VoIP 接続装置について

本装置は SIP に準拠しています。しかしながら本装置で接続を保証している装置は以下の装置のみです。その他の VoIP 装置との接続については、それが SIP に準拠している装置であっても、本装置との接続は保証いたしません。接続保証をしている装置との接続をご利用ください。

接続保証装置一覧

装置種別	装置ベンダ	装置名
端末	富士通	Si-V702 (V11 , V12) SS-100A
ゲートウェイ	富士通	Si-V704B (V11 , V12) Si-V730 (V11 , V12) Si-V735 (V11 , V12)
プロキシサーバ	富士通	CL シリーズ IP-Pathfinder BroadWorks

6 その他の注意事項

6.1 使用ポート番号による優先制御について

本装置では、パケットの優先制御機能は提供しておりません。

ただし、ルータ等の他装置が提供するポート番号による優先制御機能によって優先制御サービスを実現する場合は、次の情報を参考にしてください。

プロトコルと使用ポート番号

プロトコル	送信元情報のポート番号	宛先情報のポート番号	目的
UDP	5060,16384-16483	any	呼制御（着信用）
	any	5060,16384-16483	呼制御（発信用）

6.2 プロキシサーバ二重化機能利用時の動作保証範囲について

二重化機能を利用する環境においては、停電後の復電などが発生した場合エンドポイントの連携先プロキシサーバが分散してしまうことがあります。

このような状態では同一のプロキシサーバに連携しているエンドポイントどうしでしか通話ができなくなります。

異なるプロキシサーバに分かれてエンドポイントが連携されてしまった場合には、セカンダリプロキシサーバを停止することで、連携先のプロキシサーバをプライマリプロキシサーバへ集約することができます。

6.3 使用可能な FAX 機器について

エラーコレクトモード（ECM）のない FAX 機器をリアルタイム FAX 上で使用した場合に通信エラーとなる場合があります。これは、通信路上パケットロストの発生によりネゴシエーションデータが破棄された場合にエラーリカバリが行われず FAX 通信ができなくなることに起因しています。この場合、白紙の出力や通信異常が発生します。

6.4 FAX 信号検出時の対応について

一部の環境において FAX 信号を誤検出する場合があります。この場合、コマンドによる設定にて誤検出をしにくくすることができます。

- ◆ phone od fax detect time
- ◆ phone od fax detect inputgain
- ◆ phone od fax voicemode time

詳しくは、本製品に同梱 CD 媒体内のコマンドリファレンスを参照してください。

Si-V704B

ソフトウェア説明書 V12

発行日 2005年 7月 初版

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書は改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁・乱丁本はお取り替えいたします。